

市議会

VOL.206

だより

2025.

2

Contents

特集	2
第3回定例会 議案の概要	4
第4回定例会 議案の概要	7
一般質問	10
TOPICS	20
活動レポート	22
市民の声/次回定例会	23

特集

地域共生社会実現に向けた 小さなコミュニティからの実践



上岡議員、景山議員が聴く 地域共生社会実現に向けた 小さなコミュニティからの実践

表紙写真／サロン絆お助け隊の皆さん

国は「地域共生社会」実現を目指し、制度的な福祉に加え、地域での助け合いによる福祉政策を進めています。

高屋町小谷の上条ハイツでは、通いの場サロンのメンバーを中心に、草刈り・庭木の伐採・粗大ごみの運搬等、ご近所の高齢世帯等への助け合い活動を行われています。その取組みについてお話を伺いました。

話をお聞きした方



サロン絆お助け隊
代表 中野 正さん



サロン絆お助け隊
中村 拓巳さん

サロン絆お助け隊 活動の成果と課題

Q 活動を始めたきっかけを教えてください。

中野 グラウンドゴルフ同好会で毎朝練習していたところ、練習後に時間を持て余す方が多いことに気づきました。そこで市の「元気輝きポイント」制度を活用できることもあり、東広島

市社会福祉協議会と連携して健康づくり、生きがいづくり、世代間交流づくりのために、高齢者地域サロンに続き通いの場を

設立しました。その活動中、団地高齢者の一人住まい、管理不全の空き家等について話題となってきました。身近な地域の

Q 活動立ち上げ時の状況について教えてください。

中村 2020年7月にお助け隊を立ち上げて高齢者世帯など、お助

けの対応したいとの思いから、サロンのメンバーで作業を行う体力がある方を中心に「お助け隊」を結成しました。

Q 運営の仕組みについて教えてください。

中野 東広島市社会福祉協議会からの補助金、年3回の資源回収の収益、まちづくり協議会か

けの対象になるようなお宅に案内文を投函したものの、最初は依頼が来ませんでした。そこで声をかけ直接困りごとを聞くうちに「じゃあお願いします」ということになり、情報も広まると、声をかけなくても「うちもお願いします」という依頼が次々に入ってきました。



- ① 取材風景
- ② 剪定前の庭木
- ③ 庭木の剪定作業
- ④ 道路にはみ出した竹木の伐採
- ⑤ 草刈り
- ⑥ 大型ごみの搬出

らの支援を原資に活動しています。ボランティア活動なので、作業に対する料金は一切いただいています。

Q 活動内容を教えてください。

中村 草刈、竹木の伐採、庭木の手入れが主な活動内容です。市が行っている年2回計4日の粗大ごみ収集の日には、大型の家具などを運ぶことができない方に代わって収集場所まで運ぶことも行っています。

Q 活動において困ることはありますか。

中野 活動中のケガに備え、市社協のボランティア保険に1人あたり年額350円で加入していますが、被保険者の事前登録が必要で、活動メンバーの変更には手続きが必要です。サロンの全員を登録すればよいのですが、それでは高額負担となります。また、自主的なボランティア活動なので、要望があっても電線の周りは電力会社に、公有地は行政に依頼する必要がありますためお断りしています。安全面や権利関係から

言えば当然でしょうが、安全が確保できれば作業自体は短時間で済むため地元で対応できる選択肢も作っていただきたいですね。

Q 他にも地域で取り組むべき課題は何だとお考えですか。

中村 運転免許返納後の移動手段が課題なのではないかと思えます。小谷地域でもコミュニティバスの運行が始まりましたが、誰でも、いつでも、どこへでも、が理想です。「コミュニティバスを補完するような形で近場向けの助け合いの自家用有償運送等が地域で取り組めれば良いかと思えます。

Q 行政に要望はありますか。

中野 資源回収に対する市の補助が増えたのは助かっています。市の認めた公式な団体ではなくても、活動実態により軽トラック、草刈り機などの道具を貸与いただける制度があればうれしいですし、伐採した草木の処分もお願いしたいです。また先ほど触れた保険も市で加入していただける制度があれば、なおありがたいです。

第3回定例会

(会期：令和6年8月30日～10月7日)

議決した案件

議案の内訳

10月7日に議決された案件を掲載しています。

8月30日及び9月19日に議決された案件は前号（令和6年11月号）に掲載しています。

●決算案… 3件 ●議長発議… 1件

(●賛成多数可決… 4件)



議案書、提出議案説明書など、本会議資料は、こちらのQRコードからご覧いただけます。

議案の審査経過

表決が分かれた案件の表決結果

議案番号 ▼	会派名	清新の会						創志会					市民クラブ				未来の風			公明党		創生会		真政倶楽部	日本共産党								
	議員名	上岡裕明	大下博隆	田坂武文	貞岩敬	北林光昭	重森佳代子	乗越耕司	上田秀	向井哲浩	中曾久勝	岡田育三	玉川雅彦	奥谷求	小池恵美子	落海直哉	景山浩	中川修	石原賢治	鍋島勢理	木村輝江	鈴木英士	下向智恵子	原田栄二	坂元百合子	片山貴志	岩崎和仁	牧尾良二	山田学	宮川誠子	谷晴美		
議案第102号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
議案第103号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第104号		×	×	×	○	×	×	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議員派遣		○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	

※ 「議」は議長 「○」は賛成 「×

【表決が分かれた議案名】

- 議案第102号 令和5年度東広島市歳入歳出決算の認定について
- 議案第103号 令和5年度東広島市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について
- 議案第104号 令和5年度東広島市造賀財産区特別会計歳入歳出決算の認定について
- 議員派遣



〈議案第102号〉

令和5年度決算を認定しました

市の令和5年度決算（一般会計、各特別会計）を認定しました。決算特別委員会における審査を通して、市が令和5年度に実施した事業の課題等を整理し、令和7年度予算に向けた要望事項をとりまとめて市長に提案しました。

○一般会計	○特別会計（16会計）
歳入 982億4,521万4千円	歳入 324億4,738万1千円
歳出 961億7,214万円	歳出 316億3,674万2千円
【主要な施策の成果】（抜粋）	
①仕事づくり	
●企業誘致・留置と投資促進	
・企業活動拠点整備への支援	
・企業立地促進助成（工場等設置助成金・雇用助成金）	
・産業集積促進助成 など	16億4,166万2千円
②暮らしづくり	
●市道、街路、国県道の整備・保全	
・橋梁等道路施設の長寿命化	
・都市計画道路の整備促進	
・道路等の維持修繕の実施 など	42億1,624万7千円
③人づくり	
●学校運営の支援と教育内容の充実	
・ICTの活用による学びの充実	
・学校支援センターによる支援	
・小・中学校の施設整備等 など	51億7,466万8千円
④活力づくり	
●公共交通ネットワークの強化・充実	
・東広島市総合交通戦略・東広島市地域公共交通計画の改訂	
・自動運転・隊列走行 [*] BRTの導入検討	
・JR西高屋駅の結節点機能強化と拠点施設整備 など	12億1,877万2千円
⑤安心づくり	
●妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援体制の構築	
・妊娠期からの伴走型相談支援	
・健診事後親子教室の開催	
・乳幼児等医療費の支給対象の拡大 など	14億1,356万5千円
●保育環境の充実	
・職務奨励費及び保育士定着応援給付金の支給	
・私立保育所等の施設整備	
・放課後児童クラブの充実 など	13億9,396万4千円

○各町単位で税収と公共投資のバランスについて調査し、地域内経済の循環に資する検証を行うこと。	○Town&Gownの一層の取組により、社会課題の解決、地域と大学の連携、職員の人材育成などを強化すること。
○20万都市を見据え、医師をはじめとした [*] エッセンシャルワーカーの確保及び救急医療体制の整備に努め、本市の属する二次保健医療圏における保健医療の充実を図ること。	○子どもを中心に据えた保育環境及び教育環境の充実を図るために、保育現場や学校現場の状況を把握し、保育士、教育補助員及び学校教育支援員等の人材確保に努めること。
○住民自治協議会の取組が活発化し、及び魅力あるまちづくりのための住民主体の活動が促進されるよう、地域づくり推進交付金における事業の項目について、見直しを含め検討すること。	○農業の担い手確保に引き続き努めるとともに、農業者のニーズに合った農業支援施策を展開すること。
○入札時期の部局間調整や [*] 債務負担行為の活用等、工事発注のあり方を見直し、年間を通じた工事量の平準化を図ることにより、多くの市内業者の受注につなげるとともに、各種事業を着実に実施し、早期に事業効果を発揮できるよう努めること。	

※BRT Bus Rapid Transit（バス高速輸送システム）の略。バス専用レーンやバス優先信号などを組み合わせて、これまで以上に早く、時間どおりに目的地へ到着できるバスシステム。鉄道と路線バスの中間に位置する輸送モード。

Town&Gown 欧米の大学立地都市を参考に、タウン（街）とガウン（学生や教授たち）とが一体となったまちづくりを目指すため、大学と東広島市が連携を図りながら、持続可能で魅力的なまちづくりを進める取組み。

エッセンシャルワーカー 公共交通、物流、医療・介護など、人々が生活するうえで欠かせない仕事をする人たちのこと。

page.05 債務負担行為 数年度にわたる建設工事、土地の購入等翌年度以降の経費支出や、債務保証又は損失補償のように債務不履行等の一定の事実が発生したときの支出を予定するなどの、将来の財政支出を約束する行為。 市議会だより 2025.2

決算特別委員会での主な意見

総務分科会関係分

● 職員の災害に対する危機管理意識が低い。全庁的に意識の向上を図る必要がある。

● DXが進むように組織・業務の在り方を見直し、職員が市民と向き合う時間を作る必要がある。

文教厚生分科会関係分

● 介護人材における外国人確保支援事業について、制度設計時に対象者への意向調査がなされていないように感じたため、丁寧な制度設計をしていく必要がある。

市民経済分科会関係分

● 地域づくり推進交付金の事業項目について、まちづくりを後押しできる形で見直しを検討することが望ましいと考える。

● 予算は組んだものの実績がゼロであった補助メニューについて、どれだけ対象者に周知されているのが課題である。

建設分科会関係分

● 技術職の職員の確保・育成に積極的に取り組んでいただくよう、分科会としても事業系の部局に対して働きかける必要がある。

● 処理場や汚水管渠の整備に当たっては、民間の新たな投資や開発の妨げとならないよう、先を見越して取り組む必要がある。

● 空き家対策について、NPO法人等の民間組織、地域の方との連携は不可欠になるので、関係者との協働を強くして取り組んでいただきたい。

監査委員からの主な審査意見

各財政指標の数値はおおむね一定の水準を維持しているものの、経常収支比率をはじめとして指標の多くが悪化の傾向にある。人件費・扶助費等の経常的経費は今後も増加が見込まれ、本市を取り巻く財政状況は厳しさを増していることが予想されるが、こうした状況においても、都市の基盤形成・維持につながる公共施設やインフラ整備は行っていく必要がある。

る。職員一人一人が、こうした現状を認識し、強いコスト意識を持って事業の効果や必要性を精査するとともに、時代の変化により生じる様々な市民ニーズを的確に把握し、優先順位等を見極めながら、限られた財源の適切な活用に努めていただきたい。

本会議での討論

反対 スマートインターチェンジなどの大型事業よりも、命と暮らしを最優先する政治をしていただきたい。賃金アップ、所得補償、価格保証の向上に寄与する事業に転換すべきと考え、反対する。

賛成 令和5年度の予算は、市民生活や地域経済活動への支援に向けた取組みが行われ、多くの成果が出始めたものと感じられる。今後も適正で持続可能な行財政運営に期待し、賛成する。



〈議案第104号〉
令和5年度東広島市
造賀財産区特別会計
歳入歳出決算を認定
しました

東広島市造賀財産区が令和6年3月31日をもって廃止されたことに伴い、市において決算を行いました。歳入総額688万3000円、歳出総額322万2000円、差引額366万1000円となっております。その余剰金は、市に譲渡されています。

本会議での討論

反対 当該財産区が整備した公園で利用料を徴収していたにもかかわらず、収支に計上されていない。歳入歳出が適法適切に行われたか、提出された書類では判断できないので、反対する。

賛成 監査委員が調べられ、そして執行部も調査され、その上で審査意見書にある内容にとどめられたということは、不正はないということを判断されたものだ、これを信頼して、不正はなかったと思い、賛成する。

第4回定例会

(会期：令和6年12月2日～12月19日)

議決した案件

議案の内訳

- 条例案…7件
- 予算案…12件
- 承認案…2件
- その他…10件
- (● 全会一致可決…30件
- 賛成多数可決…1件)



議案書、提出議案説明書など、本会議資料は、こちらのQRコードからご覧いただけます。

議案の審査経過

表決が分かれた案件の表決結果

議案番号 ▼	会派名	清新の会						創志会					市民クラブ				未来の風			公明党			創生会		真政倶楽部	日本共産党						
	議員名	上岡裕明	大下博隆	田坂武文	貞岩敬	北林光昭	重森佳代子	乗越耕司	上田秀	向井哲浩	中曾久勝	岡田育三	玉川雅彦	奥谷求	小池恵美子	落海直哉	景山浩	中川修	石原賢治	鍋島勢理	木村輝江	鈴木英士	下向智恵子	原田米二	坂元百合子	片山貴志	岩崎和仁	牧尾良二	山田学	宮川誠子	谷晴美	
議案第130号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	×

※ 「議」は議長 「○」は賛成 「×」は反対 「欠」は欠席

【表決が分かれた議案名】

議案第130号 職員の給与に関する条例等の一部改正について



〈議案第112～114号〉

高屋西地域センター・高屋中央保育所複合施設新築工事をを行います

○各議案の概要

高屋西地域センター・高屋中

央保育所複合施設の新築工事に
係る請負契約（建築）（電気）（機
械）を締結するため、議会の議
決を求められたものです。

なお、いずれの工事も工期は
令和8年3月31日までの予定で
す。

○議案第112号

○工事の内容

建築一式工事
（鉄骨造、2階建て、延べ面積
2967.14平方メートル）

○契約金額

11億9350万円

○契約の相手方

大之木・ケーシーエル特定建設
工事共同企業体

○議案第113号

○工事の内容

電気設備工事
（電灯設備工事、動力設備工事、
受変電設備工事等）

○契約金額

2億8160万円

○契約の相手方

西条電気株式会社

○議案第114号

○工事の内容

機械設備工事
（空圧調和設備工事、換気設備
工事、衛生器具設備工事等）

○契約金額

2億5630万円

○契約の相手方

ダン環境設備株式会社 東広島
営業所

委員会での主な質疑

Q 保育所部分の施工単価はどの
ぐらいとなっているのか。

A おおむね41パーセントが保育
所部分となり、全体としては、
おおよそ1平方メートル当たり
58万円である。

Q 総合評価落札方式により契約
の相手方を決定されているが、
どのような点を評価して、契約
の相手方を決めたのか。

A 企業から提案を頂いた内容に
ついては、当該企業の技術情報
の漏えいを防止し、企業情報の
機密を保持する観点から、本市
の契約手続上、評価点の内訳は
非公表という取扱いとなっている
。そのため、具体的に提案内
容のどの部分が優れていたとい
うことは答えることができない

が、評価項目の内容を総合的に
審査した結果、このたびの落札
業者が加算点で上回る結果と
なったものである。



高屋西複合施設のパース図



〈議案第120号〉

東広島市自転車駐車場設置及び 管理条例の一部を改正しました

○改正の理由

西高屋駅前第1自転車駐車場の整備に伴い、その位置、使用料の規定を整備するとともに、既存の市営自転車駐車場の運営方法の見直しを目的として有料施設の一部を無料とするため、条例の一部を改正するものです。

○改正の内容

西高屋駅前第1自転車駐車場は移転し、使用料を次の表のとおりとします。

〈料金〉

利用車両	単位	金額
自転車	1日1回につき	110円
原動機付自転車 自動二輪車		220円

〈回数券〉

種類	金額
110円券11枚つづり	1,100円
220円券11枚つづり	2,200円

○次の自転車駐車場の使用料を無料化します。

- ・西条駅前第2自転車駐車場
- ・西条駅北第2自転車駐車場
- ・寺家駅南自転車駐車場
- ・寺家駅北自転車駐車場

○施行期日

令和7年4月1日等

委員会での主な質疑

Q 西高屋駅前第1自転車駐車場には、新たにキャッシュレスの精算機を導入するのか。

A 精算機の維持管理等を考慮し、精算機は設置せず、人による徴収を予定している。



〈議案第123号〉

東広島市駐車場条例等の 廃止・一部改正をしました

○改正等の理由

市が設置する駐車場を民間事業者に貸し付け、その民間事業者に管理運営させることを目的とするものです。

○改正等の内容

次の駐車場を民間事業者に管理及び運営をさせることを目的として東広島市駐車場条例を廃止し、東広島市駅前広場交通施設管理条例の一部を改正します。

- ・東広島駅前駐車場
- ・西条駅前駐車場
- ・西条駅北駐車場
- ・西条岡町駐車場
- ・西条昭和町駐車場
- ・八本松駅前駐車場
- ・入野駅前駐車場
- ・安芸津駅前北駐車場
- ・安芸津駅前南駐車場
- ・東広島駅前広場自家用車駐車場

○施行期日

令和8年6月30日までの間に
いて規則で定める日

委員会での主な質疑

Q 民間事業者に貸付けをするというになると、料金設定に関する民間事業者の裁量権の範囲はどのように考えているのか。

A 現在の料金及び周辺の民間の駐車場の料金を踏まえた料金設定を行うよう条件をつけて民間事業者の公募を行っている。

Q 現在は一定時間の利用を無料としているが、民間事業者への貸付後はどうなるのか。

A 現行の無料の運用については存続させた内容で民間事業者から提案をいただいている。



坂元 百合子 (公明党)

質問した項目

- 東広島市の子育て政策について。子どもとその家庭が安心して暮らせる環境について
- 小中学校の体育館における空調整備について

坂元議員の一般質問全編映像はコチラから



子どもとその家庭が安心して暮らせる環境

質問

流産や死産を経験した女性への心理社会的支援と低出生体重児を育てる家庭がより安心して暮らせるための施策について伺う。

高垣市長
中村子ども未来部長

流産や死産を経験した女性への支援として、母子健康手帳発行時に全ての妊婦と面談を行っており、希望される方には、担当の保健師や助産師が家庭訪問などの相談支援を行っている。また、低出生体重児については、担当の保健師や助産師が、きめ細かい支援や関係機関との連携を行っている。

小中学校の体育館の空調整備

質問

避難者の安全・安心を守るためには、避難所となる小中学校の体育館への空調設備の設置が重要である。災害時はもちろん、学校教育活動においても熱中症対策として有効であり、積極的に整備を進めるべきと考えるが、見解を伺う。

川口副市長

現在、地域で最初に避難所となる体育館に指定されている6つの学校体育館のうち、入野小学校、風早小学校、高屋中学校への空調設置を進めている。他の体育館についても※E S C O事業や環境改善交付金の活用により財源確保に努めながら計画的に整備していく。

※E S C O事業 省エネルギー改修に係るすべての経費を光熱水費の削減分で賄う事業。



小池 恵美子 (市民クラブ)

質問した項目

- 太陽光発電設置条例について

小池議員の一般質問全編映像はコチラから



※再エネ事業の地元への説明状況について

質問

再生可能エネルギーが拡大すると同時に、再エネ事業者と地域住民との間で様々な問題が浮き彫りになっている。こういったこともあり、令和6年4月には改正再エネ特措法が施行され、太陽光発電設備の設置などを行う再エネ事業者による周辺地域の住民への説明会等の事前周知の実施が強化された。資源エネルギー庁が策定したガイドラインには、「周辺地域の住民」の範囲について市町村に事前の相談を行うことも示されており、本市は、令和6年6月の一般質問で「周辺住民とのリスクコミュニケーション」を十分に取るよう事業者に要請する」と答弁されている。

高垣市長

再生可能エネルギーから周辺地域の住民の範囲について相談を受け、範囲設定に不足がある場合は的確に指導を行うとともに、住民としっかりコミュニケーションを取るよう文書により指導している。また、景観等への配慮や住民の理解が得られる土地活用等について積極的に検討する姿勢を設置者に求めるなど、条例制定に向けて鋭意検討しており、できるだけ早期に適正な設置や管理が可能となる条例を制定したい。

※再エネ 再生可能エネルギーの略。太陽光、風力、水力、地熱、バイオマスなど、資源が枯渇することなく永続的に利用できる自然の力を利用して作るエネルギーのこと。



はらだ えいじ
原田 栄二
(公明党)

質問した項目
■地域共生社会の実現について

※インクルーシブ公園の整備について

質問

11月に開催した「インクルーシブ公園 day」が大成功に終わり、インクルーシブ公園の整備は、地域共生社会の実現のための重要な一歩だと確信している。本市においてインクルーシブ公園の整備を具体的に計画している箇所と進捗状況を伺う。

答 弁／台信都市部長

一般的な公園を計画していた下見学生街地区内及び八本松駅前土地区画整理事業区域内の街区公園について、改めてインクルーシブ公園として整備する計画を進めており、地域の皆様のおおむねの合意を得たところである。

保健師の体制強化について

質問

支所への保健師の配置について、人口に対する人数や組織体制に一貫性がないと感じる。少子高齢化や健康問題の多様化に対応するため、例えば複数人体制の導入や組織体制の整備が必要と考えるが、本市の見解を伺う。

答 弁／高垣市長

限られた人的資源を最大限有効活用し、事務職と保健師がそれぞれの専門性を生かしながら一体となって業務を効率的に推進する体制をつくっていくとともに、業務量に応じた人員配置や、支所の保健師と連携を取りやすい最適な組織体制の構築に取り組み。



原田議員の一般質問全編映像はコチラから

※インクルーシブ公園 障がいの有無や年齢、性別、人種など様々な違いに関係なく、全ての人が利用できる公園。



うえだ ひでし
上田 秀
(創志会)

質問した項目
■次世代学園都市の実現に向けて
■持続可能な次世代環境都市の構築について

次世代学園都市の実現に向けて！

質問

半導体投資等に呼応した産業団地の戦略的確保に関して、市が事業主体である産業団地整備の進捗状況を伺う。

また、当該団地整備に伴い、吉川地域の農業法人の経営に影響が生じると考えられるが、当該地域の農業振興対策について伺う。

答 弁／高垣市長

産業団地整備については、令和6年4月に地元説明会を開催し、8月に現地測量、ボーリング調査、基本設計業務に着手し、このうち、現地測量やボーリング調査は12月上旬にはおおむね終えたところである。基本設計については、今年

度末に完了する予定であり、その内容は産業団地内道路、分譲地などの配置計画、概算事業費の算出等としている。地元調整について

は、地域との緊密な連携を図る中で、引き続き、整備計画や今後の進め方などを丁寧に説明し、ご理解・ご協力を得たいと考えている。

吉川地域の農業振興対策については、この度の吉川地域における産業団地を含め、新たなまちづくりを推進する中で、どのような支援を行っていくべきか、今後、農地の確保や収益性の確保、生産性の向上など地域の農業者の意向を

尊重することが重要と考えている。そのため、整備計画の進捗に合わせ、地域の声を丁寧に聴きながら、農業の将来像を共に描き、吉川地域の農業振興対策を講じたいと考えている。



上田議員の一般質問全編映像はコチラから



なべしま せり 鍋島 勢理 (未来の風)

里親ショートステイ事業 で子育ての応援を！

質問

本市では、0歳の子どもから短期間、一時的に里親に預ける里親ショートステイ事業が本年から始まった。宿泊付きのファミリーサポートのイメージで、出産や入院、育児疲れ、冠婚葬祭などでの利用も想定され、広く子育て家庭を支援する施策として有効である。一時的な子ども預け先はこれまで児童養護施設等だったところに里親が加わることで親子の受け皿が増え、社会全体で子育てをしていることにつながる。転入者数が多く、核家族世帯が増加を続ける本市において、事業の位置付けと今後の展望を伺う。

質問した項目

- 里親制度を活用した子育ての応援について
- 誰もが安心して暮らすことができる体制づくりについて



鍋島議員の一般質問全編映像はコチラから

答 弁 / 中村こども未来部長

保護者の病気や育児不安など、子どもの養育が一時的に困難となった場合、一定期間、養育・保護を行う観点から施設での子育て短期支援事業を実施してきたところだが、児童福祉法の改正を受け、施設だけでなくあたたかい家庭環境で支援を行う里親を預け先とする里親ショートステイにも取り組んでいる。今後は、身近な地域で里親ショートステイを利用できる環境を整えるために、里親を増やすことも必要である。また、令和7年秋に、里親の登録を担当している西部こども家庭センターの支所が本市で開設される予定のため緊密な連携を図るほか、里親サークルと連携しながら、様々な場において制度の周知に努める。



しげもり かよこ 重森 佳代子 (清新の会)

厳しい財政運営 6年間で 基金90億円縮減

質問

11月の中期財政運営方針では、財政指針の多くは悪化傾向にあるとされている。その中で、財政調整基金を令和6年度末の145億円から令和12年度に54億円まで縮減する見通しが示された。この大幅な方針転換の根拠、縮減を判断した理由、目安の50億円程度まで縮減した後の財政運営をどのように進めるのか問う。

答 弁 / 多賀財務部長

過去に経験した想定外の財政需要を踏まえた基金残高の水準として設定した。計画期間中は歳入の確保や効果的効率的な歳出に一層取り組む。計画期間終了後も歳入

質問した項目

- 国も地方も財政は大丈夫？
- 子育て世代の暮らしは大丈夫？



重森議員の一般質問全編映像はコチラから

子育て世代支援策 中学校給食費の無料化を

質問

歳出の不断の見直しをする。物価上昇に歯止めがかからない異常事態。家計がひっ迫している現状では、一時的な給付金より毎日恩恵を受けられ、継続的に支援が実感できる、中学校給食費の限的無料化を実施すべきではないか。

答 弁 / 片岡学校教育部長

給食費の無料化は、家計支援として子育て世帯の生活安定に寄与する効果が期待されるが、中学校給食費の無料化には3億2千万円が必要で、特定の学年のみ無料化する場合は、公平性に課題が生じ得るため、慎重に対応する。

※財政調整基金 自治体において年度間の財源の不均衡を調整するための積立金。財源に余裕のある年度に積み立て、災害や大幅な税収減などがある年度に取り崩す。



しもわかい ちえこ
下向 智恵子
(公明党)

質問した項目

- 認知症の人に寄り添った地域社会の構築について
- GIGAスクール端末の更新と処分について
- 若者を守るための市販薬オーバードーズ防止対策

下向議員の
一般質問
全編映像は
こちらから



認知症の人に寄り添った地域社会へ

質問

認知症高齢者の早期保護を目的に、「二次元コード付き「見守りシール」を交付しているが、その認知度は十分とは言えない。認知度が低いと市民がそれを活用することが難しく、迅速な対応につながらない可能性がある。今後どのような対策を検討しているのか伺う。

答 弁／高垣市長

見守りシール事業は、高齢者を発見した人が二次元コードを読み取り、連絡していただくことが必要で、市民の協力が欠かせない。小中学校や商業施設、地域のイベント等での見守りシールの読み取り体験の実施など周知に努めてい

市販薬オーバードーズ防止対策について

質問

若者のあいだで、医薬品を過剰摂取するオーバードーズが増加している。依存症や意識不明などの深刻な症状を引き起こし、中には死亡例もある。専用の相談窓口が必要だと考えるが市の見解を伺う。

答 弁／福光健康福祉部長

本市では専用窓口は設けていないが、「こころの相談」で幅広い悩みに対応している。また、相談対応を担う職員の専門性を深め、支援技術の向上を図っている。今後悩まれている当事者やご家族に寄り添った相談対応を行っていく。



たに はるみ
谷 晴美
(日本共産党)

質問した項目

- 地方自治法改正の問題点について
- 投票率の引き上げについて
- 12月2日からマイナンバーカード保険証が一体化する問題について

谷議員の
一般質問
全編映像は
こちらから



マイナンバーカードと保険証の一体化は問題

質問

①これまでの保険証は1年間で有効であること、マイナンバーカードの利用登録解除は可能であることと知らせるべき。市の見解を伺う。②マイナ保険証のセキュリティに不安のある市民のために紙の保険証の利用継続を国に求めるべき。市の見解を伺う。

答 弁／福光健康福祉部長

①ホームページや広報紙等、様々な手段で周知に努めており、今後もSNS等も活用して周知を図る。②セキュリティの課題は国が対応を進めており、市としても窓口等で必要な案内を行っている。不安な方は資格確認書による

受診が可能であることから、紙の保険証の利用継続を国に求めることは考えていない。

投票率の引き上げは民主主義の根幹

質問

①投票日の投票終了時刻を午後7時から午後8時に戻すべきではないか。②白紙投票する選挙人が立会人から名前を書くよう注意を受ける事案があるが、市の見解を伺う。

答 弁／寺尾選挙管理委員会委員長

①期日前投票所の拡充等、有権者のニーズに応じて投票機会を確保できているものと考えており、当面継続したい。②選挙人の意思が尊重された投票となるよう関係者に周知徹底を図る。



かがやま ひろし
景山 浩
(市民クラブ)

質問した項目

■本市公共交通施策が抱える課題について

景山議員の一般質問全編映像はコチラから



本市の公共交通施策が抱える課題について

質問

①公共交通は都市政策の部署が所管する自治体が多いと認識しているが、本市では地域振興部が所管していることに対する認識を伺う。②国において公共交通支援の新たな方向性が示されているが、市としての従来型を超えた今後の施策について伺う。③地域公共交通会議の在り方について伺う。④東広島市公共交通利用促進条例制定について、以前、しかるべき時期に制定できるよう努力すると答弁されたが、現在の考えを伺う。

答 弁 高垣市長
惣引地域振興部長

①本市の多様な地域特性を踏ま

え、市全体を体系化した交通施策推進の必要性から地域振興部で所管しており、公共交通の※クロスセクター効果を念頭に建設部や都市部とも緊密な連携を図っている。交通施策全体の進展を踏まえ、施策や組織の在り方を検討していく。②自動運転・隊列走行※BRTの検討と広島大学の新※モビリティ指向型都市開発研究などの連携により、先導的な公共交通施策を推進し効果を市内全域に拡げていきたい。③本市全体の交通施策構築に向けた協議において重要な役割を担っている。現在、市民参加型プラットフォームとしてSNSを活用した公共交通の意見交換の場を作る準備を進めている。④令和6年2月に改定した東広島市都市交通マスタープランにも掲げており、制定に向け準備を進める。

※クロスセクター効果 地域公共交通を廃止した時に追加的に必要となる多様な行政部門の分野別代替費用と、運行に対して行政が負担している財政支出を比較することにより把握できる地域公共交通の多面的な効果。

BRT 5ページをご参照ください。

モビリティ 「移動性」や「可動性」などを意味し、特に交通分野においては、人や物の移動及びそれを支える多様な仕組みを指す。



なかがわ おさむ
中川 修
(市民クラブ)

質問した項目

■東広島市の特性を活かした様々な誘致について
■災害に備える都市整備について

中川議員の一般質問全編映像はコチラから



東広島市の特性を活かした誘致について

質問

東広島市は広島県の中央に位置し、利便性の高いまちであることから、東広島運動公園施設の改修を計画し、大きなスポーツ大会を誘致することを提案するが、本市の考えを問う。

答 弁 / 台信都市部長

東広島運動公園について、野球場は収容人数が3800人であることや照明設備の照度が低いこと、陸上競技場は現在の第2種公認から第1種公認にするためには収容人数を現在の7400人から15000人以上にする必要があること、補助競技場が必要になることなどの課題がある。事業費や敷地

災害に備える都市整備について

質問

がどの程度必要かなどについて調査研究を行っていく。
東広島医療センターへの進路は寺家北36号線がメインとなっているが、土砂災害時には通行できない可能性がある。新たな進路の確保について本市の考えを問う。

答 弁 / 前延副市長

※リダンダンシーの観点から、新たな進路の確保を検討していく必要があると考えている。このため、東広島医療センターや隣接する県立施設と、どのように進路を確保するのか協議を進め、災害時における災害拠点施設の機能維持に努めていきたい。

※リダンダンシー 「冗長性」、「余剰」を意味し、自然災害等を想定し予備を準備して万が一に備えること。



やまだ まなぶ
山田 学
(真政倶楽部)

質問した項目

- 環境保全の取組みについて
- 多文化共生社会のビジョンについて



山田議員の
一般質問
全編映像は
こちらから

太陽光パネルと 田園風景の調和について

質問

自然景観は本市の貴重な観光資源であり、自然が中心にあるからこそ魅力あふれるまちなのだと思う。しかし、太陽光パネルの設置が進む中、自然環境との調和等、本市のビジョンとの乖離を危惧する声もある。里山等において田園風景との調和をどのように実現するのか。また、景観シミュレーションをどのように考えているのか。

答 弁／高垣市長

今後も太陽光パネルの設置は進むと見込むが、災害を引き起こしたり、周辺地域に悪影響を及ぼしたりする設置は望ましくない。条例の制定を検討しており、環境保

増加する外国人市民と 多文化共生の課題

質問

全等につながる本市独自のルール作りについて検討を進めていく。
本市には多くの外国人市民が暮らしており、多文化共生を推進しているが、その実現には多くの課題がある。埼玉県川口市の一部地域では外国人によるルールやマナーに関する問題が顕在化しているが、このような問題が起きる可能性をどの程度想定しているのか。

答 弁／中村生活環境部長

言葉や文化的背景が異なると生活における誤解もあると思われる。これらの問題への未然防止として、日本のルールの周知や多言語による情報発信を行う。



おかだ いくそう
岡田 育三
(創志会)

質問した項目

- 持続可能な本市の農業施策について
- 地方への人流回帰について
- 部局間連携による事業推進について



岡田議員の
一般質問
全編映像は
こちらから

持続可能な本市の 農業施策について

質問

持続可能な農業経営のための担い手確保と農地の維持には、「※半農半X」も含めたハードルの低い農業への関わり方や多様な取り組みの推進など、裾野の広い施策が必要と考えるが市の見解を伺う。

答 弁／川口副市長

新規就農者の育成・確保や経営力のある農業企業の誘致に加え、「半農半X」や農業に関心のある農家以外の方へも支援の問口を広げ、「趣味から生産者へ」とつながるよう、レベルに応じた栽培技術習得の研修を実施するなど、多様な担い手の確保に取り組んでいくところである。

部局間連携のプロジェクト チームについて

質問

事業の遂行が一つの部局では難しく、複数の部局で行うことで効果的に業務が実施できる場合に、部局間横断的組織として「プロジェクトチーム」を設置している。議会に対してその経過や検証結果を報告すべきと考えるが、これまですべて説明されてきたのか伺う。

答 弁／高垣市長

プロジェクトチームの成果や取組状況については、すべては報告していないが、主要な企画や制度の開始時や終了時、進捗状況等に依りて議会へ報告している。また、必要に応じて、広報等により広く周知を図っているところである。

※半農半X 農業と他の仕事を組み合わせた働き方のこと。農林水産省は農業振興策の一環として推進している。



むかい 哲浩 (創志会)

質問した項目

- SDGs・企業・団体をコンテンツとする新たな観光戦略！

向井議員の一般質問全編映像はコチラから



SDGsを起点とする新たな観光戦略

質問

①岡山県真庭市では「真庭SDGs・バイオマスツアー」として、市内でSDGsの理念を実践している企業や施設などの見学に市内の観光地・名所を加えた「市内SDGs交流ツアー」を（一社）真庭観光局が運営されている。この事業に対する市の見解を伺う。

②本市には、成長産業とされている半導体や関連企業、ものづくりのまちとしてオンラインワーカーや特色のある企業、4つの大学、研究機関などがある。これらを新たな観光資源として、「観光ツアー」「研修会」などの「コンテンツ」として確立できないか、その可能性について検討し、実現に向けた施策

を期待するが、見解を伺う。

答 弁／尾村産業部長

①市の理念に賛同した企業と観光地を融合した真庭市の取組みは、地域の特性を生かした観光コンテンツでまちの魅力を伝える有用なものであり、地域経済への波及といった点からも研究していきたい。

②本市の特徴を生かした「産業ツーリズム」の取組みは、※ディスカバー東広島島の支援により実施した事例もあるが、恒常的コンテンツとするには課題もある。しかし、市が推し進める分野における、企業と連携した観光コンテンツの創出は、まちのブランド価値向上につながるのと同時に、地域特性を生かした観光振興という観光総合戦略の方向性にも合致することから、更なる取組みの可能性を探りたい。

※ディスカバー東広島 本市観光振興の舵取り役として2022年3月に観光庁より登録DMO（観光地域づくり法人）の認定を受けた官民組織。



きたばやし 光昭 (清新の会)

質問した項目

- 本市の公園整備・維持管理について
- 集落農業育成支援事業について

北林議員の一般質問全編映像はコチラから



身近な公園の機能をすべての市民へ

質問

都市公園の中で住まいに身近な街区公園は、市街化区域に整備されていることから、市街化調整区域では公園の優れた機能を享受できない仕組みである。しかし、それでは住む場所によって市民サービシに差が生まれ、公平性が保てなくなる恐れがあると考えられるが、市の所見を伺う。

た、市街化調整区域では、借地公園制度を活用していきたい。

農地集約化をめざす地域計画の策定とは？

質問

農業を取り巻く状況は益々厳しくなり、後継者問題の解決は困難を極めている。この困難な状況で、これまでできなかった農地の集約化を、地域計画策定を契機にどう進めていくのか。

答 弁／台信都市部長

市街化区域内においても、公園からの誘致距離や一人当たりの公園面積などの視点で街区公園が充足していないことから、財政状況を勘案しながら、市街化区域内で、優先的・計画的に進めていく。また、将来の集落農業の様々な方向性を示しながら、幅広い関係者で丁寧に協議を進めていくことで、地域の農業者が、実情に応じた集約化の方法を検討しやすい環境を作っていきたい。

答 弁／高垣市長



いわさき 和仁 (創生会)

質問した項目

- 安心づくりについて
- 仕事づくりについて

岩崎議員の一般質問全編映像はコチラから



災害に強い地域づくりについて

質問

三津地区の宮崎川、風早地区のまえみずよけかわ前水除川では排水能力が不足している。一般国道185号バイパス工事による国・県の投資が計画される中、国・県と連携して取り組みを進めていく必要がある。また、市の関連工事の全体調整も必要であると考えるが、市の見解を伺う。

答 弁／藤原建設部長

国が実施している一般国道185号バイパスにおいてトンネル排水が宮崎川、前水除川に接続されることによる下流水路への影響を考慮した水路整備やスケジュール等の調整を行っている。引き続き、国・県と情報共有し連携を図りながら

市の事業を進めたい。

安芸津沿岸地域の魅力向上と発信について

質問

安芸津地域の自然や歴史、日本酒文化など、観光資源を統合的に紹介する映像などのデジタルコンテンツを制作し、ストーリー性を活かして地域の魅力を発信できると思うが、市の見解を伺う。

答 弁／高垣市長

近畿大学との*COMMONプロジェクトにより、まちとしての成り立ちや変遷などが明らかになっている中、デジタルコンテンツの活用は、視覚や感情に訴求する効果的な情報発信の方法である。効果的な手法を検討する。

*COMMONプロジェクト 東広島市の社会課題を大学の学術研究とマッチングし、課題の解決を目指すプロジェクト。



すずき 英士 (未来の風)

質問した項目

- 若者の居場所づくりについて
- 保幼小の接続について
- スマートシティについて

鈴木議員の一般質問全編映像はコチラから



西条駅周辺に交流スペースを

質問

学生は、サンスクエアなどで自習等をしているが、数に限りがあり、交流することも困難である。そのため、若者が利用・交流できる施設が必要と考えるが、児童青少年センターの設備の整備や酒蔵通りの町家を学生が日常的に利用できるようにするなど既存施設等の活用について、市の見解を伺う。

答 弁／川口副市長

児童青少年センターの更なる活用や、サンスクエア児童青少年図書館内へ青少年の交流を促進する場を設けるなど、既存施設等を活用しながら、青少年の交流が育まれる居場所づくりに取り組む。

幼保小の円滑な接続の推進を

質問

幼児教育と小学校教育との円滑な接続について、いじめ・不登校対策の観点からも、この間の教育の充実に取り組むことが重要とされている。公開保育等の取組みが行われているものの、乳幼児教育・保育のあり方について、関係者や地域の方などとの共通理解が必ずしも図られているとは限らない。そのため、関係者間の共通認識を図るべきではないか。

答 弁／川口副市長

幼児教育・保育と小学校教育との間において目指す子ども姿の共有や連携を図っているが今後一層連携を深める取組みを進める。



なかそ ひさかつ
中曾 久勝
(創志会)

質問した項目

- 本市の救急医療体制について
- (仮称)八本松スマートインターチェンジ開通に伴う周辺整備や周辺の交通渋滞緩和について
- 本市におけるカスタマーハラスメントについて



中曾議員の一般質問全編映像はコチラから

八本松スマートIC周辺整備や渋滞緩和を

質問

①(仮称)八本松スマートインターチェンジ周辺の渋滞緩和が期待できる、一般国道2号西条バイパス4車線化事業並びに県道飯田吉行線の工事の進捗状況を伺う。

②現在のスマートインターチェンジ周辺の渋滞を少しでも緩和するための協議を警察等関係機関と行っているのか。また具体的な解決策等は考えられているのか伺う。

答 弁 / 高垣市長

①国道2号西条バイパスの4車線化について、昨年10月に本市と事業主体である国が地域住民に対し事業説明会を行い、現在、現地測量及び地質調査を行っているが、

現時点では開通時期は未定である。

県道飯田吉行線については、広島県が実施主体の4車線の都市計画

道路で、供用開始されている部分

の間をつなぐ4工区の整備が現在

進められている。4工区は用地取得が面積ベースで約90%完了し、

今年度、一部着工する予定である。

なお、全線の開通時期は未定である。

②周辺の渋滞緩和のため、本市と東広島警察署が合同で磯松交

差点の渋滞状況を確認し、信号点

灯の調整を行ったほか、上寺家交

差点に県が右折レーンを整備した。

国道2号西条バイパスの4車線化

や県道飯田吉行線の全線開通が、

抜本的な交通渋滞対策として大き

く寄与すると考えているため、引

き続き事業が円滑に進むよう積極

的に協力し、早期整備について国

や県に強く要望していく。



たさか たけふみ
田坂 武文
(清新の会)

質問した項目

- 第五次東広島市総合計画について
- 農業施策について



田坂議員の一般質問全編映像はコチラから

社会資本未来プランについて

質問

社会資本整備のビジョンや取組内容を分かりやすく提示するため(仮称)東広島市社会資本未来プラン」を策定されるが、財政運営の健全性確保や財源基盤の強化を旨指して東広島市中期財政運営方針も策定されている。この二つの計画は整合しているのか。

答 弁 / 藤原建設部長

中期財政運営方針においては、普通建設事業費の投資可能額を示しており、その中で土木インフラ施設に関して重点的に取り組むべき事業を社会資本未来プランに掲載することとしている。

持続可能な農業について

質問

農業経営基盤強化促進法が施行され、地域計画を策定することが地方公共団体に義務づけられた。地域計画の策定は、策定して終わりではない。持続可能な農業のためには、より小さな区域で、よりきめ細かい支援が必要ではないか。

答 弁 / 川口副市長

計画の実行段階では、計画区域より小さい区域を単位として検討を進めていく必要がある。地域の核となる農業者等とともに、農業委員や農地利用最適化推進委員に加え、県やJA等関係機関とより連携を密にし、役割分担していくことで、地域計画の策定時以上に各地域へ伴走支援を行っていく。



たまがわ まきひこ
玉川 雅彦
(創志会)

質問した項目

- 本市における高齢者福祉について
- 本市における児童生徒及び青少年問題について

玉川議員の
一般質問
全編映像は
こちらから



頼れる身寄りのない
高齢者が直面する課題

質問

頼れる人のいない高齢者や独居高齢者で認知症の方々など、本人が意思決定できなくなったときに支援が必要になると思うが、どのように取り組まれるのか伺う。

答 弁／福光健康福祉部長

「高齢者の終活支援に関するアンケート」を実施したところ、身寄りのない方の身元保証や緊急連絡先が得られないことや、死後事務について頼める人がおらず、困っているという回答を多くいただいた。そのため、65歳以上で意思決定が困難な方などを対象に、※エンディングノートに記載された情報の登録制度等、更なる意思

本市における児童生徒・
青少年問題について

質問

決定の支援につながるような事業の実施に向けて検討を進める。

近年の青少年健全育成事業に変化が生じていると感じるが、青少年健全育成についてどのような課題があると認識されているのか。また、これらの課題を扱う青少年問題協議会ではどのような議論がなされているのか伺う。

答 弁／高垣市長

地域全体で交流できる環境づくりにより青少年の自主性、主体性を育む必要があると考えている。青少年問題協議会では、青少年の地域活動の体験の場づくりや居場所の在り方について議論している。

※エンディングノート（未来ノート）

人生の終盤に起こりうる万一の事態に備えて、治療や介護、葬儀などについての自分の希望や、家族への伝言、連絡すべき知人のリストなどを記しておくノート。遺言状と異なり、法的な拘束力はない。本市では「わたしの未来ノート～私らしく生きるために～」を配布している。



かたやま たかし
片山 貴志
(創生会)

質問した項目

- 持続可能な建設土木業および建築業の未来について
- さらなる医療の充実について
- 次世代学園都市構想の推進について

片山議員の
一般質問
全編映像は
こちらから



救急医療体制の更なる
整備を！

質問

本市内には救急科や※ICUを設置した医療機関がない。そのため、緊急を要する切迫した状態の場合は広島市内の医療機関に搬送する必要があり、時間がかかってしまう。救急科やICUを整備することで市民の安心やウェルビーイングにつながると思うが、市の見解を伺う。

答 弁／川口副市長

救急科の設置やICUの設置を含め、本市に必要な救急医療体制の整備についての基本方針を検討するため、地区医師会や東広島医療センター、広島大学等と協議していく。

がん治療医療機関・緩和
ケア施設の充実を！

質問

本市では、がん治療や緩和ケアを提供している医療機関が極めて少ないが、これらの今後の充実に向けた市の見解を伺う。

答 弁／福光健康福祉部長

東広島医療センターを核とした「地域連携パス」の活用によるがん医療連携の推進について、県と連携していく。緩和チームによる医療やケアについては、東広島医療センター、県立安芸津病院の2か所で開催している。緩和ケアは関係機関との連携が不可欠であるため、引き続き、がん患者や家族の方に寄り添い、安心して療養ができる体制の充実を図っていく。

※ICU 重とくな患者を集中して治療するための高度な医療機器を整備した施設。

市議会行政視察 海外に学ぶ

市と大学の連携の在り方や、半導体企業に適したインフラ整備、投資を呼び込む施策等、本市が目標とする姿やビジョンを明確にし、実現するための戦略や手段への理解を深めるため、マレーシアの大学、「東洋のシリコンバレー」と名高いペナン州の視察を行いました。

視察報告書は
こちらから



『令和6年度海外都市行政視察報告』
参加者 片山貴志 鈴木英士 大下博隆
日程 令和6年11月18日～11月22日
視察先 マレーシア(セランゴール州、ペラ州、ペナン州)

■サンウェイ教育グループ
視察事項：サンウェイ大学の
取組みと大学が核になったま
ちづくりについて

サンウェイ大学は、マレーシアを代表する企業のサンウェイグループにより開発された、サンウェイシティの中に位置しています。

サンウェイシティは、もともと錫鉱採掘が行われていた空き鉱山の土地から開発が始まり、

教育に重点を置いた持続可能な開発を意識しながら開発を進めています。

サンウェイ大学では、現在、2050年までに炭素排出量をゼロにすることを目標に掲げ、多くのデジタル変革プロジェクトを立ち上げています。また、住民が生活しやすい*スマートシティをどう作るかという研究を行っており、様々な社会課題への対応について、企業だけでなく政

府関係の政策に対して提案を行っています。

サンウェイシティの成り立ちを伺い、当時描いたまちづくりを着々と進めてきた結果が表れているのだと感じました。市制施行50周年を迎えた本市が、次の50年に向けてどのような姿を目指し、何に投資してまちの価値を向上させていくのか、選択と集中の考えのもと、取捨選択しながら考える必要があると感じました。



サンウェイ大学

UTAR



■トウルク・アブドゥル・ラーマン大学(UTAR)
視察事項：UTARの成り立ちと大学を起点としたまちづくりについて

UTARの位置するカンパーンは、かつて錫鉱山として栄えていましたが、加工材料の変化に伴い1985年に鉱山が廃止となり、大規模な失業、人口流出、経済問題が発生しました。そこで、ペナンとクアラルンプールの間位置するカンパーンの地域特性を生かし、重点を錫から教育に移すことで改革することが決定され、2007年に中華系マレー人にも通いやすい大学として、UTARが設立されました。

その立地ゆえに若い世代の都市流出も問題になっていたのですが、大学の設立による若者の呼び込みとそれに伴う食料品店や飲食店の出店等の成功事例が学べました。大学では地域特産のシヨウガやメロンの栽培にIoT*を導入し生産性を高めたり、学生の協力によるネット販売等

*スマートシティ 最先端技術の活用により、都市や地域の機能やサービスを効率化・高度化し、生活の利便性や快適性を向上させるとともに、人々が安心・安全に暮らせるまち。

IoT internet of thingsの略。機械・家電などのモノをインターネットにつなげる仕組み。遠隔で操作したり、モノ同士の通信が可能になる。

も行っており、地域との結びつきも強く感じました。また国内で卒業生の就職実績トップ3の大学として高い評価を受けており、毎年2回の就職フェアなど、就職支援にも力を入れる他、学生向けのスタートアップ支援も行っており、地域活性化を促しています。近隣にはUTAR病院、インターナショナルスクー
ルも運営しており、大学の存在はまちにとって大きなインパクトがあると感じる一方、本市でも大学があることによる意義をどのように捉えていくかが重要であると感じました。

■ペナン島市議会(MBPP)

視察事項：ペナン島でのDX化、スマートシティ化についての取組みについて

ペナン市はISO37122(スマートシティの指標)を取得し、スマートシティの導入を進めています。2023年8月末に導入後、現在は第1段階にあり、2025年2月に第2段階に到達するこ

とを目標としています。マレー

シアにおけるスマートシティは7つの要素で構成されており、その実現に向けアプリの開発も行われています。例えば「スマートモビリティ」の分野では、アプリ上で駐車場の検索や電子決済が可能になっているほか、Link Bikeというシェアサイクル事業なども行われています。また、日常的に発生する深刻な渋滞の対策として、交通分析を行い違法駐車等を警察へ通知するスマートアラートなども実装されています。これらの取組みでは具体的なビジョンとそれに基づくミッションを明示し、市民の利便性や生活の質の向上を目指すとのことでした。

■ペナン州政府

視察事項：ペナン州での半導体企業誘致に至る経緯、インフラ整備に関する取組みについて

ペナン州選出の国会議員であり、ペナン州第2副首席大臣でもあるジャグディーブ氏と意見

交換を行いました。

ペナン島における半導体生産量は世界の6%を占めており、研究開発に重点を置いています。人材の確保と育成においては、特に若者に向けた手頃な住宅の提供が重要視されているとのことです。インフラと産業の拡大については、工業地帯は自由工業地帯、自由貿易地域として多くの優位な点がある一方、ペナンの島のスペース不足から、本土のバトゥ・カワン等の新しい工業地帯の拡大が進行中とのこと
です。環境への配慮としては、洋上太陽光発電所のプロジェクトが計画されているほか、建物を建てる際には環境に配慮したものとするよう求めるといったことが行われています。

■全体を通じての所感

マレーシアは総人口の53%が29歳以下と若年層が多い人口構造で、2024年に3431万人、2050年には4346万人に達すると予測される国です。今回の視察では、前述の他にサンウェイ病院、不動産グループ、UTAR病院、ウエストレイク・インターナショナルスクール、INVEST Penang、FREPPENCAを訪れ、様々な視点からお話を伺いました。どの視察先でもSDGsが大きく取り上げられ、持続可能な発展への取組みが展開されていました。

大学を核としたまちづくりや、半導体を中心としたまちづくりといった点での国際交流を含め、地域発展に向けた戦略の重要性等、大変参考となる視察となりました。最後に、UTARと広島大学との大学間協定にもご尽力され、我々のマレーシア訪問においてもご助言、ご協力を頂いたマレーシア元留日学生協会(JAGAM)のゲイリー・タン代表に感謝いたします。



ジャグディーブ氏(右から6人目)と

ACTIVITY REPORT

東広島市議会活動レポート

東広島市議会防災訓練

- ◆実施日：令和6年11月15日
- ◆場所：議場、西条中央公園（避難場所）

災害発生直後の行動を確認し、市議会全体での初動対応能力の向上を図るため、本会議中の大規模地震及び庁舎内火災の発生を想定した避難訓練を実施しました。

災害発生時の動きを実際にやってみることで、緊急時の本会議運営の流れや避難方法、安否確認方法等を確認するとともに、消火器の使用訓練も行いました。



総務委員会行政視察

- ◆視察日：令和6年11月19日～21日
- ◆視察先：茨城県常総市、東京都墨田区、兵庫県伊丹市

「公共施設マネジメントについて」をテーマに視察を実施しました。

茨城県常総市では*トライアル・サウンディングの導入経緯などについて、東京都墨田区では*公共施設マネジメントのための組織体制などについて、兵庫県伊丹市では公共施設等総合管理計画の内容などについてお話を伺いました。



文教厚生委員会行政視察

- ◆視察日：令和6年11月20日
- ◆視察先：兵庫県芦屋市

「地域共生社会の実現について」をテーマに視察を実施しました。

芦屋市では、保健師が地域包括ケアの中心となって地域の福祉課題を探る取り組みをされており、特徴的な方法で地域共生社会の実現に向けた施策を展開されていることから、事業の構造や、他機関との連携時の課題等について、お話を伺いました。



建設委員会意見交換会

- ◆実施日：令和6年10月18日
- ◆相手方：東広島商工会議所建設部会

建設委員会で現在調査研究を行っている「建設工事におけるICTの利活用について」をテーマに、市の発注工事で受注者希望型のICT活用工事に取り組まれている事業者等と意見交換を行いました。その中で、「市が率先してICTを推進するよう市議会でも議論し、他市よりも先進的となるような結果につなげてほしい」などのご意見をいただきました。



※トライアル・サウンディング 民間事業者に検討対象となる公共施設を暫定的に使用してもらい、民間事業者の提案事業を試験的に実施する機会を提供するもの。
公共施設マネジメント 自治体が保有する公共施設を、自治体経営の視点から総合的かつ統括的に企画、管理及び利活用する仕組み。

行政視察報告書はコチラから



SNSの知識を学ぶ必要性について

くめ りょうすけ 久米 良典 (安芸津町)

私の娘は中学生になり、周りの子ども達もスマホを持つことが当たり前になっています。今ではSNSを使うことが当たり前で色んな人と繋がりを持ててしまう。最近では闇バイトが話題になっており、知らない間に詐欺に加担して加害者になってしまうなど、まだ知識が無い若年層が狙われていると感じます。

小学校からSNSの使い方を学んでいますが中学校ではもっと具体的に、例えば警察官の方からお話を聞くなどして、時間をかけて学ぶ必要があると思います。また、子どもだけではなく親である大人たちも子どもを守るために正しい知識を学ぶべきなので一緒に授業を受けるなどできたら、と思います。

若年層の犯罪を減らすためにもしっかりと対策を講じてほしいと思います。

市民の声

「The letter from a citizen」

子ども達 地域の方の 居場所づくり

おかもと みつこ 岡本 光子 (西条町)

9年前、実家の商店を継ぎました。駄菓子と煙草の店で、何か地域のためにならないかと思いました。高齢化が進む団地で1人暮らしが多いと聞いたので、お店の半分をカフェスペースにしました。年配の方が話しに来られたり、コロナ禍でお子様連れが休んでいけたりすることがありました。

今年に入り、あまりの暑さで近所の子ども達にカフェスペースを開放してみました。宿題をする子や友達と楽しくお話したり、カルタ取りをしたり、楽器を弾いてみんなで歌ったりしていました。時に私達を呼んで、学校で頑張ったことを話したり見せてくれたりします。いじめられたと話す子や家に鍵がかかって夕方まで待つ子もいます。

地域に居場所があるって良いですね。

令和7年第1回定例会の日程

2月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10 本会議 (初日)	11	12	13 常任委員会 (議案審査)	14	15
16	17 常任委員会 (議案審査)	18	19 予算特別委員会	20 常任委員会 (議案審査)	21	22
23	24 常任委員会 (議案審査)	25 本会議 (議案審議)	26	27 本会議 (代表・一般質問)	28	

3月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3 本会議 (代表・一般質問)	4 予算特別委員会	5	6	7	8
9	10 予算特別委員会	11	12	13	14	15
16	17	18 本会議 (議案審議)	19 予備日	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29

■本会議・委員会等の中継映像

本会議や常任委員会、全員協議会等の様子はインターネット (YouTube) でライブ配信しています。市議会ホームページからアクセスできますので、ぜひご利用ください。

また、本会議はご覧いただきやすいよう編集した録画映像を市議会ホームページで配信しているほか、KAMONケーブルテレビでも録画映像を放送しています。

■本会議・委員会の傍聴、本会議の手話通訳・託児

傍聴は当日議会事務局で受け付けます。

本会議は手話通訳・託児も可能です。希望される方は、希望日の7日前までに議会事務局にお申込みください。

ご不明な点は議会事務局 (082) 420-0966へお問い合わせください。

東広島市議会

検索





提供：賀茂鶴酒造株式会社

日本の「伝統的酒造り」

令和6年12月に、日本の「伝統的酒造り」がユネスコの無形文化遺産に登録されました。伝統的酒造りは、杜氏・蔵人等が手作業のわざとして培ってきた、麹菌を用いた酒造りの技術で、日本各地においてその土地の気候や風土に応じた多様な姿で受け継がれています。市内に10の酒蔵が現存する東広島市においても、その技術と文化が根付いています。

市議会だより

■発行／東広島市議会
■編集／広報広聴委員会
〒739-8601
東広島市西条栄町8番29号
TEL.082-420-0966
FAX.082-424-9465
(議会事務局)

■ご意見ご感想をお寄せください
市議会だより・東広島市議会ホームページ
に関するご意見ご感想は、東広島市議会事務局（左記）までお寄せください。



<https://www.city.higashihiroshima.lg.jp/shgikai/index.html>

Editor's postscript

編集後記

災害の時代に備える力を

昨年元日に発生した能登半島地震をはじめ、世界各地で自然災害が激甚化していると感じています。この経験は、防災への備えや地球環境保全の重要性を改めて問いかけています。私たち一人ひとりが行動することが未来の安心と安全を築く鍵となると考えています。

さて現在、広報広聴委員会で

は、分かりやすく手に取ってもらえる「市議会だより」を目指し議論を進めています。今後市民の皆さんに寄り添った議会活動を目指して取り組んでまいります。

広報広聴委員会委員

落海 直哉